

那珂市立小中学校適正規模化基本計画案に対するパブリックコメント実施結果

1. パブリックコメント概要

- 意見書提出期間:平成23年2月1日(火)～2月28日(月)
- 意見書提出者数:56名(電子メール9名、FAX27名、郵送8名、持参12)
- 意見書提出件数:56件
- 周知方法:お知らせ版(2月1日号)、ホームページ、学校教育課、瓜連支所、市立図書館

2. 意見の概要とそれに対する市の考え方

No	意見(概要)	件数	市の考え方
1	小学校の移転を生徒数だけで決めていいものでしょうか。計画に記載されたメリット、デメリットを検証した結果となっていない。	1	<p>・子ども達は、一定規模による集団活動をとおして、互いに学び、切磋琢磨し、多様な仲間との交流をとおして社会性・集団性を身につけていくものと考えます。「どうすることが、子どもたちのために最も良いのか」という視点から、複式学級を早急に解消する必要があるものと考えています。</p> <p>・市基本計画につきましては、各地区において詳細な説明会を開催してまいります。その上で、各地区に地域検討委員会を立ち上げて市基本計画について検討をいただく考えです。なお、地域検討委員会から出された結果を尊重いたします。</p> <p>・人数が少ないからこそできる友達との友情の深さや、先生との深い思い出や信頼関係の構築は大変重要で尊いものです。少人数ならではのきめ細かな教育環境ととらえることができます。一方、2学年を併せて16名以下の場合には複式学級となりますので、担任が二つのクラスを交互に授業をすることになります。また、少人数学級や学年の場合、より多くの同年代の子供同士の触れ合い、競争心や活動、多様な価値観の存在など、これから人として大きく成長して行く上での出会いの可能性が狭まってしまふこともあることを考えますと、適正規模化を図るメリットが大きいものと考えます。茨城県においても、「児童生徒の学習環境を充実させるために、複式学級の解消を積極的に図るべきである」との指針が示されているところです。</p> <p>・統合をして平成17年度に開校した全国の小中学校を対象として、平成19年7月に財務省が行ったアンケート結果では、保護者・児童生徒の6割以上が肯定的な評価をしております。具体的に良かった点として、友達がたくさんできる、クラス替えができる、行事やクラブ活動に活気がでるなどです。一方困った点として、通学距離が遠くなった、友達の家が遠い、少人数のほうが指導が細かいなどを回答しております。また、学力の変化の面からは、良くなったが27.3%、変わらないが46.7%、悪くなったが1.2%というアンケート結果となっております。</p> <p>・幼稚園の選択制につきましては、地域とのつながりや送迎の観点から選択制としたところです。市基本計画に係る学区の問題につきましては、地域検討委員会の中で協議していく考えです。</p> <p>・分校化については考えておりません。</p>
	本米崎小学校は、今多くの児童が通学していますが、廃止しなければならないのはなぜでしょうか。	1	
	今通学している児童に対してどのような教育をするのでしょうか。	1	
	小規模小学校のメリット、デメリットが丁寧に記載されていますが一般論です。統廃合するとこう良くなるという適正規模化の判断基準と根拠が明確に記載されていませんでした。複式学級は具体的に何がダメだったのでしょうか。具体的な現状把握結果と判断基準、判断根拠があれば説明願いたい。	1	
	本米崎小学校は、学年をこえて遊んだり、上の学年が下の学年の子の面倒を見たり良い面がたくさんあり、誇りを持っている。存続を強く望みます。	1	
	少人数には少人数なりの良いところ、少人数だからできることがたくさんあります。絶対になくさないでください。	1	
	本米崎小は、小規模だからできることに頑張っている学校で、地域全体で子ども達を育てているところです。学校をなくさないでください。	1	
	本米崎小学校をなくさないでください。少人数でもみんな色々な事をがんばっています。	1	
	地域の学校で学ぶ権利をもう少し平等に考えていただきたいです。学校以外でも地域格差を感じる事が多く、頑張っている子ども達のために本米崎小学校の存続を希望します。	1	
	勉強はもちろん、人数が少ないからこそできる友情を学びました。先生方も生徒一人ひとりとの思い出も深いと思いますし、今でも先生と連絡を取るくらいの信頼関係もできています。他の学校では味わえない、様々な経験が得られる小学校を統合しないでほしいと思います。	1	
	3年後の合併とのことですが、今の2年生は13人ですが、どうして小学校高学年の多感な時期に合併しなければならないのでしょうか。横堀小と合併する計画があったのなら、なぜ幼稚園を額田との選択性にしたのですか。	1	
	ぼくは本米崎小学校をそつぎょうしたいです。どうしてがっぺいしようとするのですか。少ないから学校ぜんいんとなかよしです。	1	
	本米崎幼稚園は地域の人間には何ひとつ納得のいく説明がなく廃園となりとても悲しい思いをしました。そして今度は小学校の統合の話、ほぼ決定の形で知りました。学校にも、地域にも説明がないまま統合の話があることは納得できません。地域、そして何より子ども達のためにも見直し検討、納得いく説明をお願いします。あまりにも強引な市の行政には不快感を抱いています。	1	
本米崎に引っ越してきましたが、こんなに地区の方と親密な学校はありません。そして少人数ならではの縦割りの活動、上級生が下級生の面倒をよく見てくれ、子ども達を安心して通わせられます。	1		
私達の母校がなくなってしまうのはとてもさびしいです。4年生の時にタイムカプセルを埋め、「20才になってあけるときまで、本米崎小学校が残っていてほしいね」といいながらうめました。ずっと全児童仲良く楽しそうな声が聞こえるような本米崎小でいて欲しいです。	1		
国の基準にとらわれずに、地域の特性と状況を加味して決定してほしい。小規模校には小規模校の良さがあり、伝統もたくさんあります。旧神崎村だから横堀小との統合には反対です。	1		

	<p>存続を切望する。学校内の学級編成を変更しても、また、分校としてでも残して欲しい。</p>	1	
	<p>小中学校適正規模化基本計画(案)不明により、メリット、デメリット判断不能。自治組織発足年で地域全体会議必要。</p>	1	
	<p>どの子にも分かる教育環境を保障することが大事にされなければならず、それを保障するためにも少人数学級や小規模学校をもとめる声が大きくなっています。小規模校は非効率的ととらえる基本計画に反対します。</p>	1	
	<p>良い環境に育ち、今まで多くの子ども達が世の中に出、幸せに生活していることを住民として嬉しく思います。これもいい学校があったからだと思えます。廃校にせず維持していただきたい。</p>	1	
	<p>統合は遅すぎる。もっと早くすべきであった。子供というのは多くの中で遊び、学ぶべきです。小学校の時の友達は一生の宝です。それが今本米崎小学校はパラパラの人数。強くなるためには、市も学校も合併あるのみ、早くそうしたほうが良い、子ども達がかわいそう。</p>	1	
2	<p>小学校は災害時の拠点となることはもちろん、コミュニティーの拠り所である。戸多地区のシンボル、地区の存在そのものであり、協働のまちづくりの理念とも矛盾するのではないか。</p>	1	
	<p>学校を廃校すると将来の学校の復活は絶望的となり、唯一のよりどころの公共施設がなくなってしまう。一方、原子力施設のみが残され、益々生活意欲が低下して人口の流出に拍車をかける事態になりかねない。単に児童数が少なくなるから統合化という安易な措置ではなく、児童数の確保を含めた人口の増加を考慮した長期的な観点から検討してほしい。</p>	1	
	<p>地域のために、本米崎小学校をなくさないでほしい。</p>	5	
	<p>孫が10人おり、本米崎小学校には3人お世話になっています。少子化の中で人と人のつながりがこれからもっと必要です。本米崎地区と小学校はそれができています。どうか計画を考え直してください。(水戸市在住)</p>	1	
	<p>私たち地域の人間も「ふるさと」である小学校という思い出がいい形で地域に存続するように知恵を出します。ふるさとの象徴である小学校、戻ってこれる場所・風景・建物・思いではなくさないでほしい。</p>	1	
	<p>伝統ある学校で本米崎のシンボル、生きがい誇りです。地元の意見を聞いてください。将来の子どものために小学校を残したいと思えます。</p>	2	
	<p>行政側は少子化対策を行ってきたのでしょうか。小学校を核とした地域の連携が弱まり活気もなくなる事が懸念されます。統合に関しては、多くの意見を吸い上げて慎重な対応をお願いします。</p>	1	
	<p>小学校は地域活性化のための核施設としての機能を果たしています。小規模校のデメリットについては概ね異論の余地はありません。人格形成の重要な時期である就学期を、集団生活での経験が浅いことにより、もまれることなく過ごしてしまうことに対しての不安は拭えません。しかし、地域のコミュニティーの場を単なる数の理論で淘汰してしまうことは甚だ疑問です。日立や水戸方面への通勤、通学の利便性にも優れた地区です。地域性を踏まえて、当地区の今後の発展を考えての検討、勇断をお願いします。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の緊急避難場所については、施設の跡地利用として、また新たな場所の指定も含め検討していきます。 ・地域コミュニティー及び協働のまちづくりにつきましては、4月から新たにスタートする自治組織制度の下、「地区まちづくり委員会」という組織を中心として地域のコミュニティーがより活発化していくものと考えます。また区から自治会に名称が変わりますが、運動会や行事等などにつきましては、地区まちづくり委員会や地域検討委員会においてご協議いただき、地区の独自性を継続・発展させていただきたいと考えます。
	<p>小規模であっても子供一人ひとりの価値は同じ、他の学校に負けないで頑張っている。学校を守り、地域の過疎化を防ぐのも重要であるべき。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・人口増加策につきましては、市の総合的な施策の下で考えてまいりますが、今後も複式学級が解消されない状況下におきましては、子ども達の教育環境を整備するために適正規模化を推進する必要があると考えます。
	<p>本米崎小学校をなくさないでください。自分が卒業した母校がなくなってしまうのはとても悲しいです。</p>	1	
	<p>どこの小学校と統合するのか</p>	1	
	<p>学校があることによって学校と地域のつながりが出来て、地域の活性化になると考えます。</p>	1	
	<p>地域の拠点がなくなる。集落崩壊、コミュニティーの低下、市民運動会、地区のスポーツ大会ができない、地域の財産がなくなる。横堀小、額田小との合同授業の実施。</p>	1	

	本米崎小は地域密着型の学校であり、ランドマーク的存在である。	1	
	児童の数は大分減っているようですが学校だけは今までどおり存続できるようお願いします。子ども達がいなくなると米崎全体が寂しくなり活気のないところになってしまいます。	1	
	本米崎小学校の統廃合については仕方がないという思いです。ただ、地域から一つのコミュニティが消え、活気や人口が低下し、忘れ去られた地域にはしてほしくない強く望みます。	1	
	小学校がなくなるのはかなしいし、いやです。小さい学校だけど仲良しで楽しい学校です。緑もたくさんあったり、他にもたくさんいいところあるので残しておいてほしいと思います。	1	
	本米崎小学校がなくなり、母校がなくなってしまう事がとてもさみしい気持ちでいっぱいです。本米崎小学校から教わったことがたくさんあります。最初はあまりの少なさにやっていけるのかと思いましたが、普通の学校と全く変わりません。	1	
	運動会をはじめ、子ども会、地域の行事を今後どうするのか。	1	
3	戸多小は、小規模校としての特色ある学校とすべきではないか。例えば農業や林業体験、英語教育、スポーツに力をいれるなど。他地区や他市からも受け入れればいいのか。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・那珂市の学校教育につきましては、それぞれの学校経営方針に基づき独自の特徴ある取組みを展開しています。 ・通学距離や地域性を考えますと、他地区や他市からの受け入れは困難と考えます。
4	どうしても移転するのであれば、国田小との越境統合とすべきである。隣の地区として人的繋がり、路線バスもあり、互いに活性化を図る近道である。県内初の取り組みとして先進事例となる。統合は反対である。	1	
	横堀、ホド内集落の子どもは東海村船場小へ編入	1	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校や幼稚園を含め、戸多地区と芳野地区との繋がり強いものと考えておりますので、市内学校との統合を図り互いに活性化すべきと考えます。なお、通学が困難な児童については、スクールバス等を導入する考えです。
	隣接する東海村舟石川・石神外宿地区の児童は、すぐ隣に学校があるにも係らず、交通量の激しい国道6号を超えて遠距離通学をしている。本米崎小学校の児童数の増加を図るため、東海村との学区の統合について検討してほしい。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地区の児童につきましては、那珂市の学校を通学区として選択できるよう弾力的運用をお願いしております。
	学区制をぜひ考えていただきたい。家から5～600mに中学校があっても、5～6Kmの中学校に通学しなければならないということが生じます。特別な措置ができるようにしてほしい。交通事故をなくすには通学距離と通学路の問題が大事です。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学区につきましては、住民同士のつながりが強い行政区や班等を単位として線引きをしております。このためどうしてもご指摘のようなケースが出てくる場合がございます。今後、地元関係者の皆様からご指摘のような要望がありましたら、総合的に検討をしたいと考えております。
	東海村舟石川小学区、石神学区との地理的状況を考慮し、那珂市と東海村で柔軟な検討も必要でないか。	1	
5	本米崎小学校がなくなることは心の安心感がなくなる気がする。これまでは小学校を通しての地域の人々の活動があったからこそうまくいっていたと思う。以前あった本米崎保育所が閉園され、公民館として使われているが滑り台は何のメンテナンスもなく、一部は雑草ものび放題です。小学校は今、先生、児童、保護者のボランティア活動により環境が保たれているが、大きな施設の今後の管理はどのようになるのでしょうか。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・跡地の有効活用は地域にとっても大変重要な課題であると考えております。地区まちづくり委員会等の意向やご提言を十分に考慮しながら有効活用を図ります。
	廃校後の建物をどの様な形で利用するのか。	1	
	廃校になると米崎が寂れる。	1	

6	<p>東海村の舟石川・石神外宿地区は、JCOの原子力事故があったにも係らず、近年道路などの整備充実が図られ、住宅がめざましく増加して住民も増えている。一方、隣接する本米崎地区は、地理的条件が殆ど変わらないにも係らず人口の流出や高齢化が進んできている。行政の在り方次第で人口の増加等発展の可能性を十分に秘めている点を勘案して検討してほしい。</p>	1	<p>・人口の増加策や社宅、企業誘致、地域づくり、高齢者対策等につきましては、皆様からいただきましたご意見やご提言を、今後の市の総合的な施策に反映させて参りたいと考えております。</p>
	<p>本米崎地区周辺には原子力施設や関連施設があるにも係らず、働く人たちは他の地域から通勤している。社宅などそれらの人々の住居の誘致や、核融合施設の隣接地の空き地に企業を誘致するなど人口増加策に努めてほしい。</p>	1	
	<p>地域づくりは人を創ることからだと思います。今の本米崎地区は地域再生という言葉はあてはまらない地区です。小学校をなくすことは、今後あまり成果が期待できない地域再生事業に多額の費用を投入することにつながります。市全体として何が本当に必要なのか再度熟考していただきたい。</p>	1	
	<p>地域に密着した小学校をなくすという事はますます若い人が中心にばかり集中してしまいます。小学校のうちにきめ細かな教育環境で生活できるという事は人格系形成の大切な時期に必要なことです。高齢者が安心して生活するためにも小学校は絶対になくさないでください。</p>	1	
	<p>少子化により児童数が減少化、学校運営の厳しさも知ることになるが、今まで何ら手立てをしていないと思われる。</p>	1	
	<p>例えば調整区域でも若い夫婦には家を建てられるように、人口を増やす方法を考えてください。</p>	1	
	<p>学校の回りに住民が流入するような施策を打ち出して(市街地化)周辺を活性化してもらいたい。</p>	1	
	<p>一部農用地を宅地化へ転用し人口増の対策</p>	1	
	<p>現在、四堰地区の若い世帯が米崎離れしている。人口増が見込める方を行政で指導していただきたい。</p>	1	
	<p>本米崎小学校は、128年の伝統をもっており、地域の和を保つ重要な役割を担っています。行政の政策を駆使して児童数の増員を図り存続をお願いします。</p>	1	
	<p>今回の小中学校適正規模化への統合の方向性は、将来を担う子供達へよりよい教育環境の提供という観点を最優先すればやむを得ないという立場です。しかし、この先この地域はどうなるのかと大変心配しています。今回の統廃合で、若者の地域離れを一層加速することにならないかと危惧されます。町(県)、住民がしっかりと将来展望(ビジョン、活性化方策)を議論せず、しっかりしたビジョンをも示すことなくこまできてしまったことに根本的な原因があるように思えてなりません。このような歴史的な背景を踏まえれば、今回の小学校の統合化という一面でこの課題を捉えるのではなく、子育て世代の若い世代がこの地に住みたいと思うようなインセンティブのある地域づくりをどうやって構築して行くかという課題とセットで議論すべきと考えます。そこで次のようなことを考えてみました。当地域は、県内でもトップクラスの教育、医療・介護、産業等あらゆる面で先行する東海村と隣接しています。近くには、那珂核融合研究所、常磐道東海スマートインター等があり、これらを核として東海村と一層の協調を図りつつ、この地区の活性化方策のランドデザインを検討すべきと考えます。地域住民と市及び近隣村を巻き込んだ道路等のインフラ整備や、山林、耕作放棄地等を最大限活用した市街地開発等々を戦略的に進め、子育て世代の若者が住んでみようと思えるようなインセンティブのある地域づくりを推進したいものです。</p>	1	

7	住民に対し何の説明もなく他校への統合をインターネットに掲載した。地区全家庭に配布し、意見書を取りまとめないのか、その手法が理解できない。	1	・基本計画は、小中学校の適正規模化に対する市の考え方としてまとめたものです。この計画に対する是非や条件整備等については、地区の代表の方々と組織していただく予定の地域検討委員会において検討をしていただく考えです。地域検討委員会が出された結果を尊重してまいります。
8	教師があまりすぎている状態で働ける場を減らす事はない。	1	基本計画は、子ども達の教育環境の観点から策定しております。
9	統合先の小学校への交通手段を示してほしい。	1	・通学が困難な児童につきましては、スクールバス又はデマンドタクシー等を導入する予定です。なお、対象者については、通学距離や地理的条件等を考慮して、地域検討委員会の意見を基に決めていきたいと考えています。 このため、安全性の観点からも児童の自転車通学を認めていく考えはございません。また、運行に係る経費につきましては市の負担を考慮しております。 ・生活道路整備(側道の拡幅)につきましては、スクールバス等の運行とも関連しますので、併せて検討していきます。
	横堀小と統合となったとき、通学バスを市の負担で配車してくれるのか	1	
	自転車通学となった場合、通学路の環境安全を整備できるのか。	1	
9	統廃合後の安全な登下校と学童の存続をお願いします。もし、横堀小と統合なら安全な生活道路の整備(側道の拡幅)を望みます。	1	
10	市内の小学校等の今後の統合(廃校)計画を教えてください。	1	・基本計画においては、適正規模化推進校については複式学級のために統合を図ることとしております。このため、具体的な学校名や統合先を示しております。学校区分の適正規模化検討校につきましては、児童生徒数や将来の学校を取り巻く社会状況、教育環境の変化等踏まえて適時検討していくこととしております。
11	どこの小学校と統合するのか	1	・歴史的背景や地域住民生活の関わり等をから、横堀小学校との統合が望ましいと考えておりますが、地域検討委員会の意見を踏まえて、統合校や学区等についても考えてまいります。
12	地域検討委員会のメンバーとして保護者全員の参画や、こまめなアンケート結果をお願いして、総意や少数意見を検討委員会で十分協議を重ねるなど、地域主導で決定できるように配慮願いたい。	1	・7でも述べましたが、市の基本計画につきましては、地域検討委員会において市基本計画の是非等を決定していただく考えでおります。なお、地域検討委員会のメンバーにつきましては、4月からスタートする地域まちづくり委員会の活用を考えています。
13	地区まちづくり委員会や地域検討委員会のメンバー構成や、権限などが何かよくわかりません。	1	・那珂市におきましては、協働のまちづくり推進基本条例に基づき、市民自治組織の設立を進めております。市と自治組織は対等の関係で地域の課題解決連携・協力していくこととなります。この中で、現在の地区単位ごとに、例えば「神崎地区まちづくり委員会」という中間自治組織を設立し、その下に現在の「区」から「自治会」が設立されます。この制度は、4月からスタートできるように、構成メンバーを含め現在各地区においていろいろと検討が進められております。 ・地域検討委員会は、今回の市基本計画に対しての協議機関として、地域の要望事項や跡地利用などについても協議いただくために、当該地域の方々とメンバー構成を選出していただくことを考えております。
14	平成26年に至るまでの検討計画(アクションプログラム)を説明願いたい。	1	・まずは市統合計画について検討いただきたいと考えています。その上で、統合相手校、統合時期、学区、通学方法等について、地域の皆様の意向を尊重しながら調整を進めていく予定でありますが、具体的なアクションプログラムにつきましては、地域検討委員会の中でお示しをしてご協議いただきたいと考えております。
15	中一ギャップは、特に小規模校の生徒が順応できない傾向にあるとの記述があるが、根拠データがあれば説明願いたい。もし、データがないのであれば偏見的記述になりかねないため、配慮願いたい。	1	・ご意見を踏まえ、別紙のとおり修正しました。
16	基本計画と併せて、財政面での分析・評価の説明がなされるべきと思いますが、財政面での改善効果は具体的にどのような内容になるのでしょうか。	1	・平成21年度の本米崎小学校及び戸多小学校の経常的な管理費・事業費等につきましては、併せておよそ20,000千円程度の削減が見込まれます。一方、統合に伴うスクールバス等の運行費用等の新たな負担が生じてまいります。スクールバス等の運行経費につきましては、大型バスを1台運行した場合、約7,000～8,000千円の委託料を想定しております。なお、運行に係る経費については、国・県の補助及び地方交付税算入措置の助成制度があります。

17	基本計画(案)と言っても、具体的に学校名まで決まっているのに、学校に通っている保護者(地域住民)に対しての説明はなく、ホームページを見ないと分からない。パソコンのない家庭は無視ということですか。	1	
	まずは、PTA、地区、学校に案の提議をしなくてはいけないと思います。パブリックコメントを見ない人が大多数です。大きな問題が地区の人に意見や相談が出来ないことを困惑しています。相談もなく学校をなくさないでください。	1	・今回の基本計画(案)の公表につきましては、パブリックコメントという一定の手続きの中で、ホームページや一定場所での閲覧という限られた公開方法となってしまったものです。ご理解をいただきたいと存じます。
	基本計画を公表(パブリックコメント)する前に、在校児童、父兄への意見聴取、説明会を実施した上で公表しているのか。まずは関係者への説明が重要ではないか。	1	・基本計画(案)につきましては、ご指摘のように具体的な学校名を挙げております。また地区のPTAや地域の方々等に直接ご説明をしております。これは、まずは「現在おかれている学校教育環境について、市はこのように対応を考えています」というように具体的な形を基本計画としてお示しをすることにより、「地域の皆様に小規模校の今後のあり方についてご判断をいただく」ためのものです。市としては、入学児童が一人、あるいは一桁の児童数という状況を踏まえ、統合による適正規模化の必要性を強く感じておりますが、「適正規模化推進にあたっての必要事項」にもありますように、具体的に統合対象となる地域の皆様の意向を尊重し、地域事情も十分に考慮してまいりますので、一方的に統合を決定して進めるものではございません。
	地域への説明、意見も聞くこともなく平成26年度から横堀小学校に統合されるという。	1	
	教育委員会の取り組み内容としてはよく理解しているつもりですが、広く一般の方々の意見を求めることを期待するなら、計画案を伝える方法に問題はないのだろうかと考えます。少なくとも関係ある学区の皆さんには、一般の人達に広く意見を求める前に、改善・改革計画の背景と方向付けを示していただけただけならよかったのかと考えます。	1	・計画案を伝える方法につきましては、ご指摘のとおりと考えています。貴重なご指摘として捉え今後活かしてまいります。
	インターネット社会とはいえ、まだまだ地域社会がその環境にない現今、公募は区長、常会組織を通じて実施すべきである。	1	

パブリックコメント修正表

市民の皆様から提出いただいた意見を考慮し、下記のとおり修正しました。

修正前	修正後	修正理由
<p>P5 3. 適正規模化の必要性（中段）</p> <p>近年、学校生活の大半を学級担任の先生と生活していた小学校から教科担任制の中学校へ進学する過程において、精神面、学習面での問題、新たな人間関係の構築に適応できず、ストレスと戸惑いを感じる中一ギャップと呼ばれる生徒が増える傾向にあります。特に小規模な小学校においては、<u>家族的な環境の小学校生活の中で過ごした生徒が、規模が大きくなった中学校の生活に順応できない傾向が見られます。</u></p>	<p>P5 3. 適正規模化の必要性（中段）</p> <p>近年、学校生活の大半を学級担任の先生と生活していた小学校から教科担任制の中学校へ進学する過程において、精神面、学習面での問題、新たな人間関係の構築に適応できず、ストレスと戸惑いを感じる中一ギャップと呼ばれる生徒が増える傾向にあります。また、<u>小規模な小学校において、家族的な環境の中で小学校生活を過ごした生徒にとっては、中学校で学校生活環境が大きく変わることになります。</u></p>	<p>中一ギャップと小規模校との関連を示す根拠データはございませんでしたので、ご意見を踏まえ左記のように修正しました。</p>